

令和4年度 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画

認定こども園 あい幼稚園

| 教育方針 | | ①生活習慣を身につける | | ②自然と触れ合い、優しい心を育む | | ③社会のルールを身につける | | ④命の大切さを学ぶ | |
|----------------------------|---|---|---|---|--|---|--|--|--|
| 保育及び教育の目標 | | ①気持ちの良い挨拶や返事ができる子ども | | ②自然や命を大切にできる子ども | | ③ルールを守り、自分で考えて行動できる子ども | | ④心豊かで遊びのびと活動する子ども | |
| 保育・教育において育みたい資質・能力 | | ①豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする（知識及び技能の基礎） ②気づいたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする（思考力、判断力、表現力等の基礎） ③心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする（学びに向かう力、人間性等） | | | | 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 | | ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活とのかかわり ⑥思考力の芽生え ⑦自然とのかかわり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現 | |
| 年齢 | 2歳 | | 3歳 | | 4歳 | | 5歳 | | |
| 発達 | ● 走る、跳ぶなどの運動機能や指先の機能が発達する ● 言葉への興味が広がり、語彙も増加して三語文が出始め、おしゃべりが盛んになる ● 自己中心に物事を考えてしまい、自己主張が強く、けんかや衝突が起きる | | ● 基本的な生活習慣が身につく、食事、排泄、衣服の調節など自分でできるようになる ● 「なぜ?」「どうして?」と疑問に思ったことを、言葉を使って質問することが多くなり、様々なものへの興味関心が高まる ● 教師や友だちと生活やあそびを楽しみ、その中できまりやルールがあることを知る | | ● 全身のバランスをとる能力が発達し、体の動きが巧みになる ● 善悪の判断が付き、考えて行動しようとする ● 自我が確立するとともに、競争心が芽生え勝敗を意識するようになる ● 友だちと一緒にあそびや仕事をやり遂げようとする ● 友だちとのトラブルを通して、思うようにならないことや相手にも思いや考えがあることに気付く。また、その中で、いたわりや思いやりの心を育む | | ● 生活習慣が身につく、生活の中で見通しをもって、自分なりに判断したり、友だちと相談したりしながら行動できる ● 自分たちであそびを考え、発展させ、ルールを作ってあそびを楽しむ ● 自分の言葉で伝えられるようになり、協力しながら最後までやり通すことができる。その中で、友だちの良さに気付く | | |
| 重点 | 安心できる環境の中で、教師と一緒に生活習慣を身につける | | 園生活に慣れ、教師や友だちとのかかわりながら喜んで遊ぶ | | あそびを通して自己発揮をし、友だちとのかかわりながら相手の気持ちに気付く | | いろいろな活動に意欲的に取り組みながら、主体的に園生活を送る | | |
| 養護 | 生命の保持 | 個々に応じた適度な運動と休息を充足させる | | 基本的な生活習慣の確立を目指す | | 運動と休息のバランスと調和を図る | | 生活全体を通して、健康・安全への意識を高める | |
| | 情緒の安定 | 自我の芽生えを喜び、受け止めながら共感していく | | 自我の確立を受容し、主体性を育む | | 社会性と自分を肯定する気持ちを育む | | 達成感や自信を持つことで、充実感を味わえるようにする 主体的に園生活を送る中で、自己を十分に発揮する | |
| 満2歳以上の園児の保育に関するねらい及び内容の5領域 | 健康 | ● 園での生活リズムが形成され、食事、排せつ、衣服の着脱などの簡単な身の回りのことを少しずつ自分でしようとする ● 全身を使ったあそびを思い切り楽しむ ● 午睡に慣れ、安心して眠る ● 午睡終了後はゆったりと過ごしなが生活リズムを整えていく | | ● 一日の生活の流れを知り、身のまわりのことを自分でやってみようとする ● 五感を使ったあそびを楽しむ ● 進んで戸外で遊ぶ ● 自分から身支度や手洗い、うがい、排泄などをする | | ● 園生活の流れが分かり、教師や友だちとともに安心して過ごす ● 衣服の調節や水分補給など、健康な過ごし方を知り、自分で気付いてやってみようとする ● 友だちと一緒に体を動かす楽しさを味わう | | ● 生活の流れがわかり、タイムテーブルや時計を意識しながら、見通しをもって活動する ● 状況に応じた態度、生活の仕方がわかり、自分で考えて行動する ● 自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う ● 戸外で十分に体を動かして遊ぶ ● 自分の成長に気付き、周りの人に感謝の気持ちをもつ | |
| | 人間関係 | ● 安心できる教師との関係の中で、友だちともかかわりながら、一緒に行動したり、遊んだりすることを楽しむ ● 一人ひとりの子どもの様子を把握し、欲求を適切に満たしながら、言葉がけなどを行う ● 教師や異年齢の友だちと一緒に簡単なごっこあそびを楽しむ ● 園の生活でのきまりがあることやその大切さに気付く | | ● 教師や友だちと一緒に過ごす楽しさを味わう ● 友だちとイメージを共有しながら、ごっこあそびや表現あそびを楽しむ | | ● 友だちと積極的にかかわりながら、喜びや悲しみを共感し、仲間意識を持つようになる ● チーム対抗でゲームなどを楽しみながら、協力したり、競い合ったりするおもしろさを味わう ● 自分や友だちの成長（出来るようになったことや頑張っていること）を探したり、認めたりしていきながら、一緒に活動を楽しむ | | ● 友だちと競い合ったり、共通の目的をもって力を合わせたりするおもしろさを味わう ● 地域の施設を訪問し、高齢者の方と触れ合い、親しみをもつ ● 様々な場面でのルールやマナーを知り、自分の生活に取り入れようとする | |
| | 環境 | ● 水、砂、土など、自然に触れて楽しむ ● 身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさなどの物の性質や仕組みに気付く ● 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な興味・関心をもつ | | ● 散歩に出かけ、見つけた植物や生き物に触れる ● 季節により、自然や人間の生活に変化があることに気付く | | ● 自然に触れ、興味や関心をもち、それについて知ろうとする ● いろいろな素材や自然物に触れて遊ぶ楽しさを味わう ● 生き物や植物の世話、片付けなど、年長児が率先して行っていることを教えてもらいながら、一緒に取り組んでみる | | ● 散歩に出かけ、季節を感じるとともに、地域の施設を知ったり、標識に興味を持ったりする。 ● 園内外で見つけた生き物や植物に興味をもち、調べたり、大切にしようとする ● 畑で栽培する野菜についてクラスで話し合い、自分なりに責任を持って世話をするとともに、収穫を楽しみにし、生長を喜ぶ ● エコ活動について学び、物の大切さを知る | |
| | 言葉 | ● 教師と一緒に簡単なごっこあそびをする中で、言葉のやりとりを楽しむ ● 教師に受け止めてもらい、自分の気持ちを言葉で表す ● 園生活の中で、親しみをもって日常の挨拶を交わす | | ● 教師や友だちに親しみを持ち、日常の挨拶をする ● 教師や友だちの話に興味を持ち、話したり、聞いたりすることを楽しむ ● 困ったことを言葉で教師に伝えようとする | | ● してほしいこと、したいことを表現したり、わからないことを尋ねたりする ● 活動やあそびの中で、自分の思いや考えを教師や友だちに伝える ● 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く | | ● 共通の目的をもって、友だちと思いや考えを伝え合い、工夫しながらあそびや活動を進める楽しさを味わう ● 生活や活動の中で一人ひとりが目標を立て、発表したり、掲示したりする ● いろいろなあそびや活動の中で、一人ひとりがイメージしたことや考えたことを伝え合いながら、協力したり役割分担したりしながら楽しむ | |
| | 表現 | ● 描いたり、作ったりすることを楽しみ、それをあそびに使ったり、飾ったりする ● 教師や友だちと一緒に、音楽やリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ ● 経験したことや嬉しかったことを自分なりに表現しようとする | | ● 歌あそびや手あそびなど、表現することを楽しむ ● 音楽に親しみ、歌を歌ったり、身体を動かしたりなど簡単なリズム楽器を使う楽しさを味わう | | ● したり、見たり、聞いたりしたことを自分なりに表現する ● 友だちと一緒に、音に合わせて体を動かしたり、自分のイメージを動きや言葉で表現し合ったりして楽しむ | | ● いろいろな楽器を使ったり、リズムをとったりして楽しむ ● 日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう ● 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう ● 相手の話を最後まで聞き、聞いたことを理解して自分なりに伝えられるようになる | |

| 年齢 | | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 |
|--|------|---|---|---|--|
| あそび | | <ul style="list-style-type: none"> ● 遊具や三輪車を使い、体を動かしてあそぶ ● 見立てあそびをする ● 手先を使ったあそびを好む ● 異年齢でのかかわりの中で友だちの真似をしてあそびを楽しむ | <ul style="list-style-type: none"> ● ひとりあそびに没頭する ● おままごとを数名で楽しむ ● 全身や遊具を使ったあそびを好む ● いろいろな素材に触れ、試しながら作ったり描いたりして楽しむ ● 異年齢でのかかわりの中で簡単なルールのあるあそびを楽しむ | <ul style="list-style-type: none"> ● 教師や友だちと一緒にルールのあるあそびを楽しむ ● 「できるようにになりたい」「やってみたい」等と目的や目標をもって取り組もうとする ● 役割のあるあそびを好む ● 身近な遊具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを好む | <ul style="list-style-type: none"> ● 友だちと一緒に複雑なルールのあるあそびを楽しむ ● 文字、数、ことばあそびを楽しむ ● 生き物や自然物、また、自然現象や社会現象に興味をもち、大人に聞いたり、図鑑で調べたり、観察したりする ● いくつかの身体的機能を同時に働かせるあそびを好む |
| 配慮すること | | <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの表情や態度を読み取り、無理にさせようとせず、気持ちに寄り添っていく ● サーキット、シールの貼りはがし、ひも通しなど、子どもが全身や手先を使うことができるようなあそびを取り入れていく ● 教師もあそびの中に積極的に加わり、友だちとの仲介となりながら、言葉でのやりとりを楽しめるようにする ● 伝えたいという気持ちを大切にすため、一人ひとりの思いに耳を傾け、優しく受け止めていく ● 子どもの位置を確認し、教師間で連携を持ちながら、危険がないようにする | <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちが安心して遊びこめるよう、欲求に丁寧に応える ● 興味関心や季節に合わせて、素材を用意したり、環境を整えたりする ● 生活やあそびの中で、楽しく過ごすためには、きまりやルールがあることを知らせながら、その場に応じて確認していく ● 自己主張を見守り、思いを表に出せるよう援助していく。また、相手には自分と違う思いがあることに気付く | <ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな気持ちと葛藤している時には、その気持ちに寄り添っていき、一緒に受け止めていく ● 自尊心を尊重し、出来た時には一緒に喜んで、その子の思いに共感していく ● 子どもの表現しようとする意欲を受け止めて、自分らしく様々な表現を楽しむことができるようにする | <ul style="list-style-type: none"> ● 友だちと共通の目的をもって取り組む中で、最後まで取り組めるよう、環境を整えたり、励ましたりしていく。また、その中で、一人ひとりが自己発揮できるよう働きかけ、周りから認められる体験を通して自信につなげていく。そして、やり遂げた達成感や喜びを共有し、仲間意識を高めていけるようにする ● トラブルの際には、互いの思いに気付けるように働きかけていく ● 子どもたちの気付きや発見を受け止めながら感動を共有し、共感していく ● のびのびと自己発揮ができるように、表現することを楽しめる機会を設け、その姿を認めていく |
| 保健安全 | 保健目標 | ○園生活のリズムを身につける ○自分の身体のことに関心を持つ ○身体を十分に動かして元気にあそぶ ○季節に応じた過ごし方を知り、病気を予防し健康に過ごす ○食事のマナーを身につける ○心や体の成長に気付く | | | |
| | 安全教育 | ○園内の安全な生活の仕方 ○安全な遊具・用具の使い方 ○避難訓練（火災・地震・津波・不審者侵入） ○交通安全教室 ○水あそび(海・川含む)の約束 ○園外での安全な過ごし方 | | | |
| 食育 | | ○ゆったりとした雰囲気の中で食べることを楽しむ ○様々な食材への関心を高める | ○教師や友だちと一緒に食べることの楽しさを味わう ○食事の時間を楽しみにしながら準備を行う | ○食事の基本的なマナーを身につける ○食の大切さに気付き、進んで食べようとする | ○自然や食に関わる人への感謝の気持ちを持つ ○食が身体にとって重要であることを知り、栄養バランスを意識する |
| 健康な生活の基本としての食を営む力の育成に向け、その基礎を培う （①お腹がすくリズムのもてる子ども ②食べたいもの、好きなものが増える子ども ③一緒に食べたい人がいる子ども ④食事づくり、準備にかかわる子ども ⑤食べものを話題にする子ども） | | | | | |
| 個別発達支援 | | ○配慮を必要とする園児の実態把握を行い、個別の指導計画を作成し、職員間で共通理解を深める ○就学前に保護者や小学校に、一人ひとりの成長・発達の状況を伝える | | ○療育施設等と連携し、定期的に巡回してもらいながら必要に応じて手立てのアドバイスなどをもらう ○年2回の保護者との懇談を通して、保護者との共通理解を行う | |
| 異年齢活動 | | ○毎日の自由あそび、生活を通して異年齢でのかかわり（朝の支度の世話、給食準備等） | | ○行事に異年齢で参加（七夕集会、園外保育、運動会の競技、お買い物ごっこ、節分等） | |
| 家庭との連携 | | ○日々の保護者との対話（成長が見られたこと、保護者の心配事など） ○連絡帳で園、家庭での様子を伝え合う ○保育参観 ○園だより ○ホームページやフェイスブック ○発達相談 ○親子行事（親子遠足、運動会） | | | |
| 小学校との連携 | | ○指導要録の送付 ○2年生町探検受け入れ ○卒園児と交流する機会 ○1年生授業参観（卒園児を中心に学校の様子を聞く） ○保幼小連絡会にて個々の特性や手立てを伝える ○小学校職員の園への参観 ○学校便りの送付 ○小学校まで散歩に出かける | | | |
| 子育て支援 | | ○子どもの成長やかかわり方などの子育ての悩みや不安を気軽に話せる場と雰囲気作り ○ジュニアクラブ（月3～4回、製作あそび、ふれあいあそび等） ○園庭開放 | | | |
| 地域との連携 | | ○文化の森図書館へ定期的に出掛ける ○北条高校との交流（職場体験受け入れ） ○デイサービス訪問、交流 ○公民館との行事交流（夏祭り、秋祭り） ○聖カタリナ大学との交流（講師依頼、ボランティア依頼） ○実習生の受け入れ | | | |